



東海村

議会だより

第37号

2019.7

目次

6月定例会

(仮称) 歴史と未来の交流館建設に着手 P 2

賛否の分かれた議案、討論 P 3

村政を問う！〔一般質問〕 P 4～ 11

委員会レポート P11

9月定例会日程(予定)／議会の豆知識 P12

6月議会 あらまし

※全議案の議決結果はホームページでご覧いただけます。



令和元年第2回定例会（6月議会）は、6月3日に開会し、20日までの会期で開催しました。

一般質問は、11日から13日までの3日間で13人の議員が行い、14日の予算決算委員会では一般会計の補正予算を審査しました。

20日の議案審議では、専決処分の承認、一般会計補正予算のほか東海駅西口広場再整備に関する条例の廃止、東海南中学校給食室増改築工事、（仮称）歴史と未来の交流館建設工事の工事請負契約の締結など、村長提出の議案19件すべてを可決しました。

（仮称）歴史と未来の交流館 建設に着手

6月定例会で審議された議案の中から
注目議案をご紹介します。

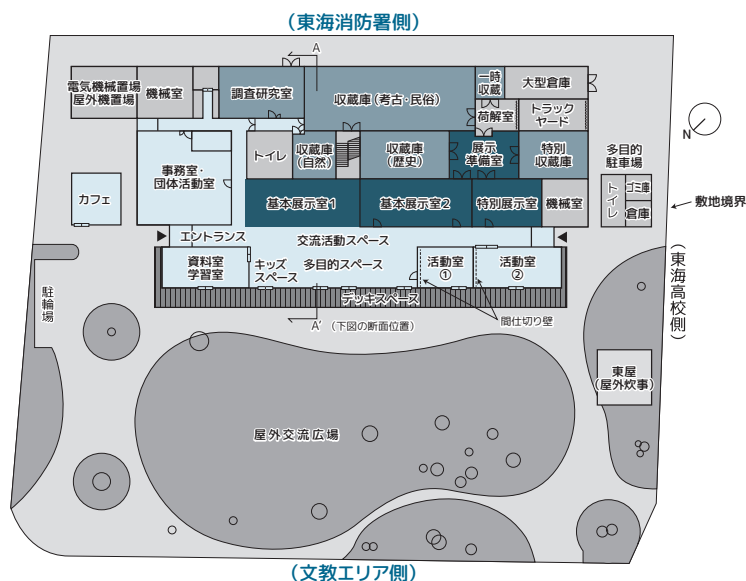
■議案第46号～49号概要

（仮称）歴史と未来の交流館は、ふるさと東海村の歴史や文化を発信する拠点です。「見る・触れる・体験する・交流する」をキーワードに子どもから大人まで楽しみながら学び、活動できる施設として、性質の異なる3つの展示室に、村の風土とその上に成り立つ歴史を展示します。

また、文教エリアとの連携を図るため、大きな屋外交流広場を設けています。

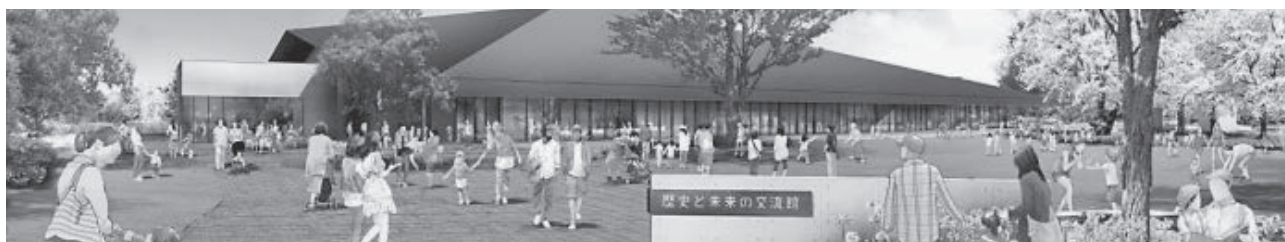
7月から建設工事に着手し、建物完成は令和2年12月、展示制作は令和3年3月に完成した後、文化財移設等の準備を進め、令和3年7月に開館予定です。

■（仮称）歴史と未来の交流館の平面図（イメージ）



■建設費用について

（仮称）歴史と未来の交流館建設における関連工事は、一般競争入札の結果、建築工事及び外構工事は10億6,370万円、電気設備工事は1億4,256万円、機械設備工事は1億9,030万円、展示制作業務委託は指名競争入札の結果9,680万円となりました。



各議員の賛否（議案などで賛否の分かれたもの）

議員名 議案等名	新政とうかい											みすずの会			公明党		無会派		結果			
	鈴木 昇	飛田 静幸	村上 邦男	舩井 文夫	大内 則夫	越智 辰哉	河野 健一	武部 慎一	吉田 充宏	寺門 定範	笹嶋 士郎	新垣麻依子	江田 五六	恵利 いつ	清宮 寿子	阿部 功志	岡崎 悟	植木 伸寿		大名美恵子	村上 孝	
承認第 3号	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	承認	
議案第46号	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	○	○	○	○	可決
議案第47号	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	○	○	○	○	可決
議案第48号	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	○	○	○	○	可決
議案第49号	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	○	○	○	○	可決

○…賛成 ×…反対

※議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します。

賛否の分かれた議案などの名称と要旨

承認第 3 号	専決処分の承認を求めることについて（東海村国民健康保険税条例の一部を改正する条例） 国民健康保険税賦課限度額及び軽減判定所得基準額の引き上げを行うための条例の一部改正
議案第 46 号	工事請負契約の締結について （第31-29-102-K-001号（仮称）歴史と未来の交流館建設工事（建築工事）及び外構工事） 建築工事及び外構工事の請負契約締結に議決を要するため
議案第 47 号	工事請負契約の締結について （第31-29-102-K-002号（仮称）歴史と未来の交流館建設工事（電気設備工事）） 電気設備工事の請負契約締結に議決を要するため
議案第 48 号	工事請負契約の締結について （第31-29-102-K-003号（仮称）歴史と未来の交流館建設工事（機械設備工事）） 機械設備工事の請負契約締結に議決を要するため
議案第 49 号	業務委託契約の締結について（（仮称）歴史と未来の交流館展示制作業務委託） 展示制作業務委託の契約締結に議決を要するため

反対
みすずの会 江田五六議員
交流館事業で村長は、住民の要望・意見書・署名に耳を傾けることなく村長ミッシン（神命）として建設ありきで進めてきた。村税で運営される行政として、その進め方に疑問を感じる。村民の意見を尊重すべきである。

反対
みすずの会 恵利いつ議員
当初12億円が、昨年6月16億円に、今年3月に18億円と跳ね上がった。行政の見通しが甘いまま、交流館建設に取り掛かることは、さらなる建設費上昇になりかねない。建設費は、一生懸命に働いた住民の血税である。

議案第46号
工事請負契約の締結について

討論とは… 自分の意見（賛成または反対）を表明し、その意見に反対する議員、賛否の意思を決めていない議員を、自分の意見に賛同させることを目的に行うものです。



反対
みすずの会 江田五六議員
「歴史と未来の交流館」の展示制作業務委託に約1億円の予算をかける契約は、積算根拠が不十分。今後70年間、村民の生活を圧迫する可能性がある。本村で予想される事態は全国にたくさんある事例がある。

反対
みすずの会 清宮寿子議員
ここ数年、村の業務委託料は物件費として上昇し、昨年は約32億円。交流館展示制作業務委託料約1億円は、村の財政ひっ迫の要因となる。行政と住民の協働作業で委託料を見直し、住民の主体的参加活動で住民力アップを。

議案第49号
業務委託契約の締結について

反対
無会派 大名美恵子議員
均等割と平等割の減額対象の範囲を拡大し、新たに71名の軽減が見込まれる点は賛成。しかし加入者1人で所得約720万円以上の場合、賦課限度額が58万円から61万円に引き上がる点は反対。国保の構造を改善すべき。

承認第3号
東海村国民健康保険税条例の一部を改正する条例

村政を問う!

一般質問

一般質問とは

議員が、村のさまざまな施策について村長や教育長など執行部に対して質問し、時には是正を求めながら、新たな施策の提案や意見を述べ、村政をより良い方向へ導くものです。

村上 孝 議員 P.5

- 1 農地集積の現状
- 2 新川管理の在り方
- 3 災害に強いまちづくりに向けた取り組み

吉田 充宏 議員 P.5

- 1 高齢者のいきがいづくり
- 2 安全安心なまちづくり
- 3 (仮称) 歴史と未来の交流館について
- 4 広域避難訓練について

大名 美恵子 議員 P.6

- 1 保育所・幼稚園及び学校生活における安全確保
- 2 ゴミ分別収集の現状
- 3 国保税の負担軽減策
- 4 改正「水道法」の本村への影響
- 5 東海第二原発の再稼働表明への対応

恵利 いつ 議員 P.6

- 1 (仮称) 歴史と未来の交流館建設問題、付帯決議を受けて行政はどのように取り組むのか
- 2 外国人(労働者)を東海村の一員として迎入れるための環境整備
- 3 東海第二原発の再稼働はできないと村長は明確に意思表示をすべき

舛井 文夫 議員 P.7

- 1 公共交通のあり方
- 2 ケーブルテレビについて
- 3 無電柱化について
- 4 村総合計画の進捗状況等について
- 5 駅西口広場の活性化

植木 伸寿 議員 P.7

- 1 住民自治向上への取り組みは
- 2 LGBTの理解促進に向けた考えは
- 3 災害時対応に向けた取り組みは

岡崎 悟 議員 P.8

- 1 通学路の安全対策
- 2 「アポ電話」対策
- 3 役場相談窓口の機能充実
- 4 ブロック塀撤去費の助成

武部 慎一 議員 P.8

- 1 学校安全の多様化に向けた対応は如何に
ー複雑化する学校安全、生活安全に向けた対応ー
- 2 70歳まで働く社会環境に向けて今できることは
ー社会の意識改革、社会保障制度、働き方改革ー
- 3 労働人口の高齢化に伴う再教育の必要性
ー多様な産業支援のための高齢者リカレント教育ー
- 4 村全体を俯瞰した総合管理計画
ーインフラ個別計画、総合管理計画、財政管理計画ー
- 5 東海在住外国人の人口推移と今後の課題
ー家族支援(生活、言語等)、児童の教育支援等ー

阿部 功志 議員 P.9

- 1 小中学校に送付された文科省版「放射線副読本」の扱いは
- 2 ヨウ素剤配布、40歳以上への今後の方針は
- 3 太陽光発電の蓄電池設置補助への取り組みは
- 4 高齢者の免許返納に対応するデマンドタクシー増車等の対策は
- 5 主要な交差点等に車進入防止柵を設置する取り組みは
- 6 村内公園への除草剤散布の実態は

笹嶋 士郎 議員 P.9

- 1 東海村財政について
- 2 待機児童の状況について
- 3 生活道路整備状況について
- 4 交通安全施設整備について

清宮 寿子 議員 P.10

- 1 土地利用は、自然豊かな住環境の保護を最優先にすべきでは(第5次総合計画に則るように)
- 2 交流館建設事業は、自治基本条例第18条に反しているが
- 3 戦後74年経過した今、遺族会と村の関わり方は

寺門 定範 議員 P.10

- 1 広域避難計画について
- 2 村立幼稚園の延長保育
- 3 常磐線踏切の安全確保
- 4 原子力人材の育成

越智 辰哉 議員 P.11

- 1 夏休みの空き教室を活用した学童クラブの開設
- 2 行政情報のランク付けと情報発信ツールの活用
- 3 県立高校再編の影響等について
- 4 ごみ集積所の利用状況調査
- 5 地域における担い手の確保育成

※青字の質問を掲載。

※議会ホームページでもご覧いただけます。

東海村議会

検索



問 新川の管理を 県管理とすべきでは

答 重要課題であり県に要望していく



村上 孝 議員

問 新川の管理を広域的な観点から、二級河川に格上げし県管理とすべきではないか。

答 県関係者や周辺自治体による「東新川に関する情報交換会」を開催し、協議している。

問 本村が数億もの費用をかけ河川の修復工事をするには限度がある。

答 東新川の管理は村の域を超えている。県に要望活動が続けていく。

問 災害に強いまちを目指すためには

答 計画に従い関係機関と情報共有



東海村で工事が終わった東新川と未整備の茨城県の二級河川

問 原電では東日本大震災の影響を考慮し、防潮堤の高さを20メートルとする計画だが、原子力自治体である東海村の津波対策の状況は。ライフラインの整備のため、横断的な施策調整を図るべきと考えるが。

答 海岸沿いの土地は、原子力や港湾用地であるため影響は限られている。津波防災は国や県等と横断的に連携しつつ、当面は防災知識の普及や意識啓発など、地域におけるソフト施策を進めていく。

問 免許証返納と 交通手段対策は同時

答 改善策や拡充策について議論する



新政とうかい
よしだ みちひろ 議員
吉田 充宏

問 高齢者の交通事故が、昨年の約1.7倍に増えたことは課題である。運転免許証自主返納支援事業の実績と課題について伺う。

答 自主的な免許返納を後押しし、高齢者の交通事故防止を図っている。平成30年度の申請件数は123件で前年度から71件の増となり、自主返納支援事業が着実に浸透してきた。

問 本事業を推進するためには、免許証を返納した高齢者の移動手段の充実も並行し、推進する必要がある。デマンドタクシーの

課題と対策、さらなる増便や利用時間の延長が必要と考えるが見解を伺う。

答 高齢者を中心に重要な移動手段の一つとして、多くの村民に利用いただいている一方で、「予約が取れない」「電話がつながらない」といった課題がある。これに対し、車両の増加や増便、オペレーターの増員、運行時間の30分延長などの対策を講じてきた。今後も村民の声に耳を傾けつつ、関係者と有効な改善策や拡充策について、議論を深める。



さらなる改善が求められるデマンドタクシー

問 資源ごみ回収の充実を図っては

答 常設型資源ステーションを検討



おおな みさこ 議員

問 「最近資源物量が減少傾向。ゴミ出しルールは守られているか」との声がある。

答 年度ごとの変動はあるがペットボトルの薄肉化や簡易包装化などもあり、排出量は減少に転じている。平成30年度はペットボトルが約55t、プラスチック製容器包装が約174tで、ピーク時比でそれぞれ約66%、約48%に減少。

問 同年度で可燃ごみの排出量はどうか。

もう一方の住民の声に「月2回収集ではゴミ袋の置場に苦慮す

る」や「自治会への資源ごみ報奨金が減少傾向」などがある。こうした声に応えつつごみ排出の傾向を大枠で把握するために、資源ごみ回収を充実させてはどうか。

答 平成29・30年度の可燃ごみは増加傾向の一方、資源物は減少。可燃ごみへの混入や、大型店舗による店頭回収利用の可能性もある。資源物の回収回数、最大月4回まで可能だが、利便性向上のため加えて常設型資源ステーション設置を検討したい。



資源ステーション 甲府市の場合

問 冷却機能喪失、暴走までの猶予は

答 100℃に達するまでに約 22 日



みすずの会
えり 恵利 議員

問 福島第一原発では稼働中のため、わずか1日で爆発に至った。しかし、東海第二原発は8年以上冷却しているのに、暴走し始めるまでの時間的猶予は十分ある。再稼働を目指す工事と廃炉に向かう安全対策工事では工事に大きな違いがある。原発は、自立調達できない1,740億円もの経費をかけて、再稼働につながる工事に取

答 1,740億円の示すべきではないか。

工事は事業者の経営上の判断。コメントは差し控える。何よりも大事なことは、住民の意向把握であり悩んでいる。幅広い年齢層から意見を聞けるような場をつくりたい。

問 国に8兆円超(国民一人当たり約7万円)の借金をしている東電が、1,740億円の債務保証をする意向とのこと。工事後に再稼働につながるなかった場合、1,740億円の穴埋めは、国民の税金になりかねないと思うが。

答 事業者が審査を受けて進めていること。自治体の首長として住民の安心安全をどう守るかで判断する。



原発による住民説明会(再稼働を懸念する多くの質問がありました)

問 公共交通のあり方について

答 利用率の厳しい路線は廃止も視野

問 現在、免許返納者や交通弱者に対し、村内を大型バスが走っているが、乗客が乗っていないとの声を村民から聞く。この現状をどう分析しているのか。

答 路線バスの利用状況は、平成27年度が3万8千人、平成28年度が4万8千人、平成29年度が5万4千人、平成30年度が8万人と順調に利用者数を伸ばしている。しかし、利用率の厳しい路線や時間帯については、廃止や時間の変更も視野に入れて、地域住民や関係者と協議したい。



新政とうかい
ますい ふみ お 議員
舩井 文夫



乗客の乗っていない大型バス

問 私は毎朝舟石川小入口の十字路交差点で生徒を見守っているが、笠松運動公園、船場、舟石川小学校、文化センター経由で、駅東口行きの大型バスに乗客が乗っているのを見たことがない。このような現実をどう分析しているのか。

答 笠松ルートについては、村政懇談会での意見などを基に地域公共交通会議で協議・決定した。また中型バスへの車両変更は、導入費用の課題もあることから、今後関係者と協議したい。

問 住民自治向上への取り組みは

答 地域未来ビジョンをともに作る

問 私は、これまで住民自治をどう向上させるのか質問を重ねてきた。昨年度は、各地区で行う村政懇談会の開催に工夫の見られた地域もあった。村との協議のうえ開催手法を変えた地域では、若い方が参加し活発な意見交換も行われ、効果的であると考える。これからの取り組みを伺う。

答 地域の特性を活かした新たな地域づくりとして、これから住み続けたいと思える「地域未来ビジョン」を、村民とともに作り上げるための意見交換を重ねてきた。今後は、出された意見等を基にして地域コミュニティの再構築に向け実践的な活動を展開する。



公明党
うえき しんじゅ 議員
植木 伸寿



緑ヶ丘地区ワークショップのようす

問 自治会活動の理解促進と併せ、防災面における住民向けの情報発信に活用するためにケーブルテレビの活用も検討してはどうか。

答 まずは、自治会活動を多くの方に理解いただく事が大切と考える。今後は、一部の自治会で行っている広報誌による情報発信に加え、様々な情報ツールの活用を検討していく。

問 白方小学校通学路の安全対策を

答 ガードレール等の対策を実施する



公明党
おかざき さとる 議員
岡崎 悟

問 自動車が歩道へ飛び込む事故が、各地で発生している。白方小学校通学路の原電線に、ガードレール等の設置を求める。①畑の耕作者への最大の配慮をしたうえで、可能なところからガードレールを設置するべきと考える。②原電線白方小学校入り口の信号待機場所が、朝の登校時に子どもたちで溢れる。より安全を確保するため、この場所を広げることができないか。③この待機場所に立つポストコーンは、車の侵入を止められないこと



ガードレールによる安全対策を求める

から、その機能をもつものに代えるべき。村の考えを伺う。

答 次代を担う子どものかげがいのない命を、社会全体で交通事故から守る観点で、道路交通環境の改善は重要と考える。ガードレール設置や原電線白方小学校入り口の信号待機場所の拡張など、通学路の利用状況を学校や教育委員会、警察等と連携を図り調査把握を行い、通学路危険個所の安全対策を実施する。

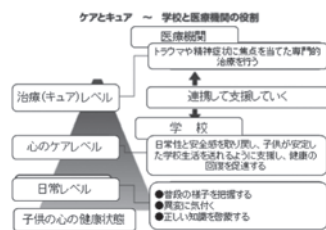
問 児童の SOS をどう受け止めるか

答 子どもの心の声に気づき救い上げる



新政とうかい
たけべ しんいち 議員
武部 慎一

問 犯罪的いじめや、歪んだ家庭、生活環境による犯罪被害、思い込み等による事故、無差別に襲いかかる犯罪、児童の安全が十分に確保されているとは言えない社会環境の下で、児童から大人に発信された SOS が大人社会の事情で受け入れられず、取り返しのつかない状況に陥っている。この状況をどう考えるのか。子ども達の SOS を受け止めるのは、基本的には家庭。それ以外での社会との繋がりを育む学校生活では可能な限り、見て聞い



て対応いただきたい。

答 大切なのは学校職員が足を運んで安全を確認すること。子どもの発信する SOS を捉え、僅かな変化に我々大人が気づく感性が何より大切。子ども達の心の声を救い上げるところこそ教育の営み、一人一人の子どもの命を守り、希望を未来に繋ぐことになる。コミュニケーションスクールが、昨年度からスタートし、来年度にかけて全小学校で地域で一体となり、子どもたちの安全を守る体制づくりが大切。

問 40 歳以上への ヨウ素剤の配布は

答 今後もすべての年齢の方を対象に



みすずの会
あべ こうし 議員
阿部 功志

問 村内公園への除草
剤散布の実態は

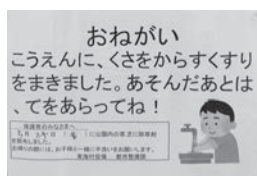
問 原子力規制委員会
は、今後、ヨウ素剤を
配る対象を原則40歳未
満に限る、と方針を見
直した。しかし40歳以
上に発ガンリスクな
しという根拠はないと
も言う。村の見解は。

答 今年2月までに
16,574人に配布
した。配布率は約42.
5%。今年7、8月の
配布会では、茨城県な
どとの調整を踏まえ、
すべての年齢の方を対
象に配布する。その後
は別途検討する。

問 使用しないのが理
想、調査研究する

問 5月末、村内の公
園に除草剤を散布した
と掲示があった。使用
農薬は2種類で、発ガ
ン性のあるフロルフラリ
ム50%のダイヤメート
水和剤。それと猛毒の
パラコートやジクワット
を含むプリグロックス。
健康被害が心配される
ので、農薬は使用せず、
刈り払いにしては。

答 環境への保護から
考えると使用しないこ
とが理想だが、刈り払
いでは間に合わない現
状。除草する回数を増
やすことで除草剤を使
用しないことができる
か等、調査研究する。



公園の注意をうながす掲示物

問 10 月からの 保育無償化の対応は

答 臨時的保育施設の設置も検討



新政とうかい
ささじま しろう 議員
笹嶋 士郎

問 今年の10月から幼
児教育・保育無償化が
始まる。夫婦共働きの
生活がスタンダードに
なりつつある現状で「私
も保育所に預けて働き
たい。」という家庭は多
いと思う。昨年9月議
会で、待機児童解消に
向け2歳児未満の小規
模保育、駅近などに一
時預かり所設置を提案
した。その後の状況と
無償化への対応を伺う。

答 小規模保育の取り
組み状況については、
現時点では整備場所や
実施事業者などは決定
していない。令和2年
4月開所に向け取り組



保育所がいっぱいで入所することが
出来ずに困っている働くお母さん

んでいる。10月からの
制度開始に向けては、
無償化により潜在的
な保育ニーズが掘り起
こされ待機児童の状況
は、今以上に厳しくな
ると考えている。

問 待機児童の状況
が、今以上に厳しくな
ると考えているのであ
れば、幼稚園・小学校
など公共施設の空き部
屋を仮設の保育所とし
て再利用してはどうか。

答 期間を限定した臨
時的保育施設の設置や
公立幼稚園をはじめと
する既存施設の活用も
検討したい。

問 交流館建設は 自治基本条例に違反

答 付帯決議に取り組み反していない



みすずの会
せいみや としこ
清宮 寿子 議員

問 4月の競争入札公告と7月着工予定の揭示は付帯決議事項を軽んじており、自治基本条例に反していないか。

答 事業と並行して付帯決議事項に取り組んでおり反していない。

問 付帯決議は、建設計画に「交流館建設について多くの村民が参画し得る仕掛けを構築」するよう求めた。しかし村は、村民参画を、建設後の活動として、解釈をすり替えている。建設に疑問を持



村民の疑問に答えられるか

つ2千数百名の住民署名、「ハコモノ建設はもうたくさん」という住民の声を無視できず付帯決議が可決された。事業を中断して住民を交えた協議体をつくる考えは。

答 村の重要施策であり必要性から議論し直す考えはない。住民の疑問にも答えていく。

問 開館2～3年は賑わうが、以降の来館者数や活動の質と規模の見通しは立たず。館長は未だ選任されず、維持管理費は人件費や修理費等が不透明なまま。今後の事業評価は、村民に報告すべきと考えるが。

答 今後も丁寧に説明していく。

問 原子力研究成果から 産業育成が必要

答 中小企業の開発費等の支援を開始



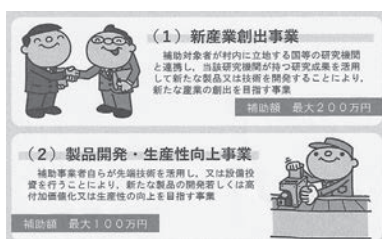
新政とうかい
てらかど さだのり
寺門 定範 議員

問 東海村は、原子力に関する最先端の施設・設備や研究者などの人材が集まり、研究開発が行われている。これらの成果を新たな産業育成につなげる取り組みの実績と計画について問う。

答 大学や国等の研究機関が集積している本村の有する優位性を産業展開に十分活かして切れない。そのため、昨年度に新産業の創出などに取り組む産業戦略室を設け、村内中小企業を対象に大学や研究機関の研究成果を紹介するセミナーを開催

した。今年度からは「イノベーション創出支援補助金」を新設し、研究成果を活用して新たな製品や技術開発にチャレンジする企業等に対して、研究開発費や調査費等を支援する取り組みを始めた。

今後とも、村内の大学や研究機関のコーディネート等と連携を図り、新たな取り組みにチャレンジする村内中小企業とのマッチングを個別に支援することにより、一つでも多くの産業展開が図れるよう取り組んでいく。



イノベーション創出支援補助金概要
(今年度の募集は終わりました)

問 学童クラブの 定員超過への対応は

答 来年4月の改善に向け協議・調整中



新政とうかい
おちや 辰哉 議員

問 年度当初は45名が入所不可であったが、来年度の見込みと対策はどうか。

答 来年度の見込みは、保育所の待機児童の状況を鑑みれば、今年度同様に定員を超えた利用希望が出てくる想定している。その対応策として、小学校の体育館や特別教室などを活用した「新たな子どもの居場所づくり」の検討を進めている。

具体策として、まずは本年度の夏休み期間中に白方学童クラブに在籍する5・6年生を対象として試行的に実施し、得られた課題などを分析し、受け入れ体制を講じながら、1年間を通じた「新たな子どもの居場所づくり」を構築していきたい。なお、実施時期は、令和2年4月を目指していく。



定員超過への対応が急がれる
白方学童クラブ

問 1年間を通じた受け入れではなく、夏休み期間に限定した受け入れについても、検討すべきでは。

答 実際の利用状況なども勘案したうえで、「年間を通じた利用ニーズ」と「夏休み期間の一時的な利用ニーズ」とを区別して考えることも念頭に置きながら検討していく。

Committee Report 委員会レポート

総務委員会

ひたちなか・東海
グリーンセンターを視察

総務委員会では、4月9日にひたちなか・東海グリーンセンターの現地視察を行いました。村で回収している可燃ごみは年々増加傾向である一方、資源物は減少傾向にあるとのことでした。村の最終処分場にも限界があることから、ごみ減量化を推進する必要があることを改めて確認しました。



建設産業委員会

茨城大学東海サテライト
キャンパスを視察

建設産業委員会では、6月20日に白方にある茨城県量子ビーム研究センター内の茨城大学東海サテライトキャンパスの教育・研究について視察を行いました。茨城大学大学院理工学研究科量子線科学専攻は、量子線の基礎から応用まで学ぶことができる国内で唯一の専攻で、学生200名及び教員70名のうち、常時50名程度が東海キャンパスの最新鋭の電子顕微鏡やJIPARC



を活用して研究しています。委員会では、茨城大学と学生の生活環境整備や地域との交流、小中学生向け体験教室等の実施について意見交換しました。

表紙写真の紹介



5月25日(土)に石神小
学校の第73回運動会が、晴
天のもと「石神魂100% 令
和最初の勝利を目指せ2019」
をスローガンに開催されまし
た。この場面は、閉会式での
1コマです。白組優勝の結果
を聞いて、勝利の歓声を上げ、
全身で喜び4年生。
優勝おめでとう!



傍聴から はじめよう!

どなたでも傍聴できます。
役場議会棟2階にお越し
ください。(受付は30分前から)

傍聴の定員は
50名

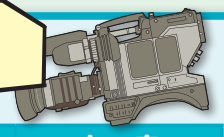
9月定例会日程(予定)

期 日	時 間	内 容
9月2日(月)	午前10時～	開会
9月10日(火)	午前10時～	一般質問
9月11日(水)	午前10時～	一般質問
9月12日(木)	午前10時～	一般質問
9月13日(金)	午前9時～	予算決算委員会

期 日	時 間	内 容
9月17日(火)	午前9時～	予算決算委員会
9月18日(水)	午前9時～	予算決算委員会
9月20日(金)	午前10時～	予算決算委員会
9月26日(木)	午前10時～	議案審議

※日程は変更になる場合があります。

村内各コミセン
総合福祉センター「絆」
でライブ配信中



会議録ってなに?

議会が終了したあと、その内容を知りたいときどうしたら
良いでしょうか。過去50年以上の議会の記録は、全て保
管されています。今回は、会議録についてご紹介します。



イモゾー
ファミリー
と学ぼう

議会の
豆知識
No.12

イモゾー、議会が傍聴できるのはわかっ
たけど(議会だより36号参照)、過去の議会で
の内容を知りたい時はどうしたらよいの?

イモゾー、そういう時は会議録
をみるのが良いよ。

会議録ってなにが書いてあるの?

会議録は、議会の本会議での審議経
過・結果等が書き記してある文書の
ことを言うんだよ。

会議録をみれば村で課題となっていること
やそれに対して議会でどんなやり取りが
あったかを知ることができるんだね。

そうなんだ。会議録は各コミュニ
ティセンター、図書館、議会のホー
ムページでみられるよ。

さっそく見てみるよ!



議会ホームページは
こちら



議 会 報
編集委員会

委 員 長
委 員

寺門 定範
大名美恵子

副 委 員 長
江 田 五 六

岡 崎 悟
恵 利 い つ

越 智 辰 哉

新 垣 麻 依 子